

外国書講読（英）ワークシート（12）

1. テルモピュライの戦いで最初に撃退されたのは何人の部隊か。
2. 1に続いて前進したペルシア人部隊はなんと呼ばれていたか。
3. ヘロドトスによるとペルシア人部隊が数の優勢を活用できなかったのはなぜか。
4. 2日目の戦いでペルシア人は何を期待していたのか。
5. 絶望していたクセルクセスにテルモピュライに通じる山越えの抜け道を教えたのは誰か。
6. 著者はペルシア軍の地理情報が現地住民に何かをしていたと推測しているがそれは何か。
7. 著者はクセルクセスが正面攻撃で親衛隊に重大な損失を被らせたことについてどう考えているのか。
8. レオニダスの兵員配置は均等ではなかったと著者は評価しているがその理由は何か。
9. レオニダスの兵員配置はある仮定に基づいていると著者は言うが、その仮定とは何か。
10. ペルシア陣営に加わった諸国の指導者の多くは戦争後何のおかげで命と地位を保つのに成功したのか。
11. 偏向的歴史の判断とはどのようなものなのか。
12. 3世紀のガリア人の侵入の時にこの地の住民のかなりの人々がギリシアを裏切ったが、その理由は何か。
13. ヘラス（ギリシア）とはどのような概念だったのか。
14. アノバイア峠はどこから始まるのか。
15. ペルシア軍が左手に見ながら峠を登っていたというトラキニア山脈とは何か。
16. 溪谷の東にある発起点と別の情報提供者のレポートとが不一致であると言われているがそのレポートとは何か。
17. 丘陵部にいる監視者の目を逃れるためにヒュダルネスとその部隊は何をしたのか。
18. 最初にテルモピュライに抜ける峠を発見したのは誰か。
19. 峠はどこで終わっているのか。
20. アノバイア山頂部にペルシア軍が到着したのは何時か。
21. 山頂部を守っていたフォーキス人が得た最初の警報は何だったのか。

22. 山頂に逃れたフォーキス人をヒュダルネスはどうしたのか。
23. ヘロドトスの記述の「下って行った」は著者によると誤りで、ペルシア軍はさらにかなり多少とも平坦な道を進んで行かなくてはならなかったということになるが、その他に何がヘロドトスの間違いなのか。
24. 死を覚悟した市民兵と訓練を積んだ不死隊の違いは何か。
25. ペルシア軍の接近を最初は誰が知らせたのか。
26. ペルシア軍が峠を占拠したという知らせにスパルタ人たちはクセルクセスの幕舎を襲撃しようという計画を立てたとディオドロスは伝えているが、著者はこれをどのような理由で退けているのか。
27. デイオドロスによるとペルシア軍の接近をレオニダスに伝えた脱走兵の一人はキューメーのテュッラスティアダスということになっているが、これが歴史的事実とする理由は何か。
28. レオニダスはその軍の大部分を別のところへ送り出し自らは後衛と一緒に踏み止まったと伝えられているが、現代の研究者の多くはこれをどのように解釈しているのか。
29. ヘロドトスはアテナイ人の友人からテーバイ兵に関してレオニダスがどのような扱いをしたと聞かされたのか。
30. 著者はレオニダスの指揮を必ずしも優れたものとはみなしておらず、もし 2,000 名の兵と若干のスパルタ兵を丘陵部に送っておけばどうなったと考えているのか。
31. 著者はレオニダスが後衛とともに踏み止まった理由をどのように説明しているのか。
32. レオニダスは海路脱出する方法もあったが、それをしなかった理由は何か。
33. テルモピュライで戦死したダレイオスの息子の名前の一人を記せ。
34. エフィアルテスと共に後方を迂回してきた部隊が到着した時、ギリシア人たちはどうしたのか。
35. テーバイ人たちは降伏したとヘロドトスは伝えているが、これを著者はアテナイ人の何に深く影響されていると述べているのか。
36. 著者はテーバイ兵が万策つきで降伏したのであって、それまでは勇敢に戦っていたと評価している。それに対してスパルタ兵は日本兵と同じようにむしろ何を選ぼうとしたのだと述べているのか。
37. マリナトスが確定した最後の抵抗地点は道路に近く何の内側にあるのか。
38. マリナトスがテルモピュライの古戦場で発掘した鏃（やじり）の多くは何鍬のオリエント型のものか。
39. 何時頃までにテルモピュライの戦いは終わったのか。
40. テルモピュライ守備隊の全滅の知らせは何時アルテミシオンに到着したのか。